



こんにちは。朝夕の空気がさわやかに感じる季節になりました、一年の中でも10月～11月が個人的には一番好きな季節でもあります。と同時に地域の行事や各種イベントが集中する時期のような気もします。年末に向けても人々の動きが活発になるのかもしれませんが。

さて、私はフリーの介護講師ということもあり、沖縄県主催、または沖縄県の委託を受けた団体の介護講座を担当することも多く県内各地を飛び回っています。その他民間の開催する資格取得のスクールのお仕事を含めると凄まじい数の講座・研修が稼働していることに気づきます。分かりやすくいうと、毎日県内のどこかで2～3件以上の介護関連の講座・研修が開催されているような状態です。それだけ日本全体、そしてここ沖縄でも官民あげて介護が社会課題として浸透して実際に動いているということなのでしょうね。



「仕事と介護の両立支援制度」 ～相談窓口のご案内～

継続的に介護を行うためには、経済的な負担がかかるだけでなく、皆さんがここまで働いてきたキャリアを中断することになってしまいます。介護に直面してもすぐに退職することなく、制度を活用しながら仕事と介護の両立ができるよう「相談窓口」を案内します。状況に応じて、各窓口へお問合せください😊

介護に関する相談窓口

- ① 社内の相談窓口
- ② 沖縄県労働局雇用環境・均等部（室）
098-868-4380
- ③ 対象者住居地に所在する地域包括支援センター

その他、外部窓口として

「あきなわ仕事と介護両立サポート協同組合」へ

LINEでは組合通信や、仕事と介護の両立に関する新着情報を配信予定です😊
友達追加宜しくお願いします（記事：大城）



松川の独り言～介護相談窓口～

普段ケアマネジャーとして従事している中で、「地域包括支援センターってよく聞くけど、どんな場所なの？」と聞かれる事があります。以前までは「地域の事も良く知っていて介護に関する事や地域の事の相談にのってくれる相談分野のブロがいる所」とお伝えする事が多かったのですが、組合で活動する様になって「包括支援センターだけに任せるのではなくて、その人に合った相談窓口が多様にあっても良いかもしれない（自身が相談しやすい選択肢がある状況）」と感じています。決して包括支援センターに相談するのがダメというわけではなく、もちろん地域の高齢者の暮らしを一番にサポートする場所で間違いありません。一方で「早急に相談したい、仕事が休みの土日に相談したい」等もよくお聞きします。

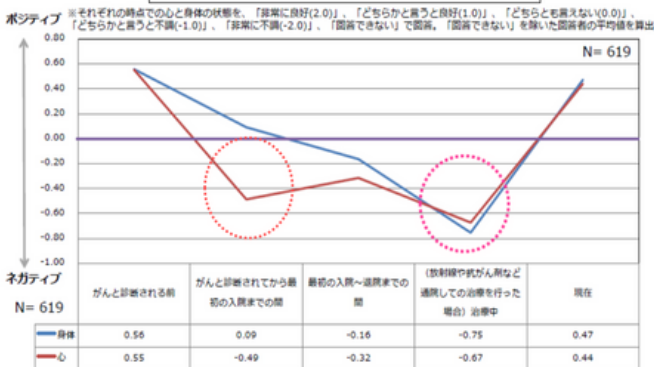
その際は民間企業等でも行っている介護保険外のサービスや相談窓口等（組合含む）その方の状況に合った相談方法が身近にあると、より仕事と介護の両立にも繋がるのではないかと感じています。

♪組合への相談もお気軽にどうぞ♪（記事：松川）

基本的な医療について（後編）

がんの診断が出て離職してしまう方が約34%、その中で治療前に約40%の方が離職ということがわかりました（厚労科研究「がんの社会学」に関する研究グループ引用）。がんに対する治療として「手術」「薬物療法」「放射線治療」「免疫療法」などがあります。副作用などの影響もありますが、精神的な苦悩も大きく、治療と仕事の両立を行うには会社の理解も必要となります。（記事：中山）

がん患者さんの精神的苦悩



「がん経験者の心の変化に関する調査」（キャンサー・ソリューションズ株式会社 桜井なおみ氏）より作成

介護ワンポイントアドバイス⑨

『介護とロボットとICT』

介護の世界では人間にしか出来ない、相手の気持ちを汲み取ること、創造力や発想を強みとしていると言われていています。一方で、ロボットやICTを活用してケアの質を上げることも行われています。百聞は一見にしかず、この機会に下記イベント『介護ロボット地域フォーラム』に足をお運びください。

※参加は無料、お申込みは下記QRコードから♪

（記事：中松） き

入場無料 厚生労働省「介護ロボット地域フォーラム事業」

介護ロボット地域フォーラム in 沖縄

令和6年12月19日（木）
10:00-16:00
沖縄産業支援センター
沖縄県那覇市字小禄1831番地1

介護ロボット・ICT機器展示並びにセミナーを実施!